

授業科目	メディアリテラシー				単位	1		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	NU10511J	
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	浅羽 修丈							
授業概要	<p>新聞やテレビ、ラジオなど、従来から存在するメディアだけでなく、近年では、インターネットという新しいメディアの登場により、受け取る情報は多種多様化している。人は、意識するしないに関わらず、そのようなメディアから受け取る情報に大きな影響を受ける。例えば、メディアから発信される言語情報は、個人が使用する言葉づかいを変える影響力があるだろう。さらには、メディアによって発信された意見やデータを受け取ることで、個人の考え方や価値観も揺さぶられる。私たち人間は、メディアによる情報に心をつかまれ、揺さぶられ、踊らされる危険性がある。メディアリテラシーとは、そのような多種多様なメディアを通じて受け取る情報を見極めることであり、メディアから発信された情報の真偽を見抜き、批判的に読み解き、それを活用する能力のことである。本授業では、メディアリテラシーの基本的な考え方を学ぶことに主眼を置く。</p> <p>また、本授業では、メディアリテラシーについて学んだことを文書作成ソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを用いて表現してもらう。そのため、本授業では、基本的なコンピュータ操作スキルを身に付けることにも主眼を置く。</p> <p>上記の内容を学習するために、担当教員からの説明とともにコンピュータを使いながら授業を進める。さらに、メディアリテラシーに関する学習では、情報をどのように受け取ったか、どのように情報発信すべきか、今後、メディアとどのように付き合いがいけば良いかなどについて、グループでディスカッションをしながら授業を進める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディアリテラシーに関する各理論について説明できる。</li> <li>2. メディアから受け取った情報を見極め、批判的に読み解くことができる。</li> <li>3. 文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトを利用した分かりやすい情報発信ができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	60	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		40					40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			60				60	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. メディアリテラシーに関する各理論について人に説明することができるだけでなく、現実の場面で活用することができる。				1. メディアリテラシーに関する各理論について、人に説明することができる。				
2. メディアから受け取った情報を見極め、批判的に読み解くには何を意識すればよいかを人に説明することができ、かつ、現実の場面で活用することができる。				2. メディアから受け取った情報を見極め、批判的に読み解くには何を意識すればよいかを人に説明することができる。				
				3. 文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトを用				

3. 文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトを用いて、第3者に分かりやすく、正確に情報を伝えることができる。		いて、第3者に情報を伝えることができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:メディアリテラシーとは メディアリテラシーとは何か、なぜ必要かについて解説する。	講義	復習:該当部分の復習	15
2	テーマ:文書作成ソフト 文書作成ソフトの基本操作を学ぶ。	講義 演習	復習:該当部分の復習 予習:教科書の章末練習問題	60
3	テーマ:文書作成ソフト小テスト&情報受信(1) 文書作成ソフトに関する小テストを行う。その後、情報の受け止め方として、結論を急いで鵜呑みにすることの危険性について解説する。	小テスト 講義 演習 グループワーク	復習:該当部分の復習	30
4	テーマ:情報受信(2) 情報の受け止め方として、事実と意見を区別した上で情報を読み解く重要性について解説する。また、立場を変えて情報を読み解く重要性についても解説する。	講義 演習 グループワーク	復習:該当部分の復習	30
5	テーマ:情報受信(3) 情報の受け止め方として、隠された情報について意識する重要性について解説する。その後、情報受信に関するレポート演習に取り組む。	講義 グループワーク レポート作成	復習:該当部分の復習とその内容をまとめたレポートの作成	60
6	テーマ:情報発信(1) 情報の発信の仕方について、正確な情報を伝えることの重要性について解説する。また、相手のことを考えて情報を伝える重要性について解説する。	講義 演習 グループワーク	復習:該当部分の復習	30
7	テーマ:情報発信(2) 情報の発信の仕方について、伝えたい内容を明確にする重要性について解説する。その後、情報発信に関するレポート演習に取り組む。	講義 グループワーク レポート作成	復習:該当部分の復習とその内容をまとめたレポートの作成	60
8	テーマ:表計算ソフト(1) 表計算ソフトの基本操作を学ぶ。特に、体裁の良い表作りや基本的な計算ができるためのスキルを身に付ける。	講義 演習	復習:該当部分の復習	30
9	テーマ:表計算ソフト(2) 表計算ソフトの基本操作を学ぶ。特に、基本的なグラフの作成ができるためのスキルを身に付ける。	講義 演習	復習:該当部分の復習 予習:教科書の章末練習問題	60
10	テーマ:表計算ソフト小テスト&アンケート調査とデータ収集 表計算ソフトに関する小テストを行う。その後、インターネットショッピングに関するアンケート調査を実施し、分析のためのデータを収集する。	小テスト 演習	復習:該当部分の復習	30
11	テーマ:アンケート調査のデータ分析&ステルスマーケティング 前回の授業で収集したアンケート調査のデータ分析を行う。その後、ステルスマーケティングについて解説する。	講義 演習 グループワーク	復習:該当部分の復習	30
12	テーマ:プレゼンテーションソフト プレゼンテーションソフトの基本操作を学ぶ。	講義 演習	復習:該当部分の復習	30

13	テーマ:パーソナライズドフィルター・フィルターバブル パーソナライズドフィルター、および、フィルターバブル について解説する。	講義 グループワーク	復習:該当部分の復習	30
14	テーマ:フィルターバブルについて伝えるプレゼンテー ション 前回の授業で学んだフィルターバブルについてプレゼ ンテーションするためのスライドを作成する。	演習	復習:該当部分の復習	30
15	テーマ:まとめ メディアリテラシーについて総括する。	講義	復習:これまでの授業全体の 内容の振り返り	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	コンピュータの操作にある程度慣れておくと、受講しやすくなります。特に、タイピングの技能は大切ですので、毎日数分で結構ですので練習を重ねておきましょう。			
テキスト	(株)ZUGA、山崎紅、川上恭子:「情報利活用 コンピュータリテラシー Office2013/2010 対応」、日経 BP 社、2013 年、1,728 円			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	必要に応じて、授業中に指定します。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	分からないところは、些細なことであっても積極的に質問して下さい。メディアリテラシーに関する書籍は、多く出版されています。図書館などで検索して、読んでみて下さい。また、スマートフォンをはじめとする携帯端末が普及するに従って、メディアから情報を受け取り、メディアを通じて情報を発信する機会は飛躍的に増加しました。普段から接する情報のやり取りの中において、メディアリテラシーに関する思考を巡らす習慣を身に付けてください。			

達成度評価に関するコメント	<p>小テストは、教科書の章末にある練習問題から出題します。しっかりと予習をしていれば、高評価が期待できます。</p> <p>授業で学んだことは、配布された資料だけに頼るのではなく、担当教員が説明したポイントを随時メモしましょう。そうすれば、完成度の高いレポートが期待できます。</p> <p>授業中に演習やグループワークをする機会が多くあります。妥協せずに、多角的な観点から意見をまとめることが重要です。</p>
---------------	---